

これでいいのか、NHK

～元NHK経営委員の小林緑さんが語る～

いま、NHKでは、公共放送のトップらしからぬ靱井会長の暴言が続き、あらたに任命された経営委員が、民主主義を真っ向から否定するような発言を続けています。ニュースは、政府広報と見まがうばかりで、バラエティは、民放の二番煎じのような番組が横行しています。民主主義と平和の根幹をなすメディアの問題、NHKについて考えてみませんか。今回は、2001年～2007年、NHK経営委員を務められ、NHK問題について発言を続けていらっしゃる、音楽史がご専門の小林緑さんをお迎えします。

講演のあと、後半は、早くよりNHK問題に取り組んでおられる宮ノ台在住の醍醐聰さんが、さらに小林さんにお聞きし、参加者との質疑の時間も十分取りたいと思います。ぜひお出かけくださいますようお願いいたします。



講師プロフィール

東京芸術大学大学院修了後、パリ第四大学留学。
国立音楽大学名誉教授。女性と音楽研究フォーラム前代表。埋もれた女性作曲家のコンサートを続けている。共編著に『音楽のテアトロン』（1994年）『女性作曲家列伝』（1999年）などがある。2001より2期6年間、NHK経営委員を務める。

2014年5月10日(土)午後1時30分～4時

佐倉ミレニアムセンター ホール(京成佐倉駅隣接)

講師: 小林緑さん(国立音楽大学名誉教授、元NHK経営委員)

聞き手: 醍醐聰さん(NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ共同代表)

資料代:500円

連絡先:043-489-6420(高塚)



政府が右と言うことを
左と言うわけにはい
かない。(1月25日)



主催 さくら・志津憲法9条をまもりたい会